

## 国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション1：世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

### 世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

スティーブン・ポー

香港証券・先物取引監察委員会 (SFC) シニア・ディレクター  
証券監督者国際機構 (IOSCO) 市場仲介者常設委員会議長

#### 概要

国際金融システムは相互に強く関連しており、世界的な金融危機が発生すればアジアもその影響を免れない。このような状況下で 2008 年に発生した金融危機は、程度の違いはあるもののアジア各国に影響を及ぼし、国際金融システムに次のような 3 つの脆弱性があることを浮き彫りにした。

#### 1. 複雑な金融商品が個人投資家に販売されること

金融商品が複雑化し、新商品が開発されるために、投資家が投資に伴うリスクを正しく理解することが難しくなっている。金融商品の特性やリスクについて十分な開示をしないまま投資家に販売したり、市場仲介者が投資家に不適切な投資商品を推奨することで問題を悪化させている。

#### 2. 店頭 (OTC) デリバティブの取引

先般の金融危機によって、店頭 (OTC) デリバティブ市場の構造的な脆弱性が明らかになった。同市場は、カウンターパーティに対する大規模なエクスポージャーが適切に管理されていないなど、システムック・リスクを増大させる要因を作った。また、店頭 (OTC) デリバティブ市場の不透明さと金融商品の複雑化が、過剰なレバレッジとリスクテイクを助長した。

#### 3. 海外市場取引に内在するリスク

国内の投資家が海外の市場仲介者を通じて取引を行う場合、リーマン・ブラザーズや MF グローバルが破綻した時がそうだったように、市場仲介者の破綻によって海外資産が凍結されるリスクに常に曝されることになる。

本発表では、これら 3 つの脆弱性について検討した上で、このような問題に取り組むために世界や各国・地域がとった是正措置について、証券監督者国際機構 (IOSCO) の規制イニシアティブと香港の経験を例に挙げながら、具体的に紹介する。